

## 第2回大東市デジタル化推進本部会議 議事要旨

日時：令和4年1月7日（金）午後1時00分～2時30分

場所：オンライン会議

出席：東坂市長、野田副市長、水野教育長、松本上下水道事業管理者、

田中理事兼総務部長、品川理事兼議会事務局長

中村危機管理監、東政策推進部長、木村市民生活部長、

奥野人権政策監、青木福祉・子ども部長、北本保健医療部長、

今出都市整備部長、北田産業・文化部長、延田上下水道局長、

北田教育総務部長、伊東学校教育政策部長、

辻本選挙管理委員会・公平委員会・監査委員事務局長、山鬼会計管理者

（事務局）

清水政策推進部総括次長、川口行政サービス向上室長、

田中行政サービス向上室課長、佐藤（デジタル化推進アドバイザー）、白井

（窓口改革ワーキングチーム）

谷口課長補佐（市民課）、宮本主査（公民連携推進室）

（オフィス改革ワーキングチーム）

清水課長補佐（公民連携推進室）、中嶋上席主査（総務課）

### 【次第】

次第1 DXワーキングチームの活動内容等について（事務局から）

次第2 デジタル化の推進に関する提言について（DXワーキングチームから）

次第3 その他

-----  
次第1について、事務局から資料に沿って説明

次第2について、窓口改革ワーキングチーム、オフィス改革ワーキングチームの順に  
提言内容の説明

以下、質疑応答及び意見交換

（危機管理監）

提言の内容は、夢のような世界ではなく、実現していけると感じた。特に、窓口改革  
ワーキングチームから提言に合った総合窓口は、そこで手続きが完結し、市民の方にも喜  
ばれる。オフィス改革ワーキングチームから提言のあった庁内でのフリーアドレスも、

総合窓口の実現に繋がるものだと思う。これまでも庁内でのプロジェクトチームなどはあったが、最終的に解散して立ち消えになってしまうことが心配。いまのやる気のまま、今日の提言の内容が新庁舎となったときに、すべて実現できているというイメージを持って進めていけばよい。期待している。

(保健医療部長)

国や府から、ハンコレス、ペーパーレス、キャッシュレスの3つのレスが示されているが、両チームともこれが含まれた提言となっていた。

課題として感じたのは、これらを進めていくためには、マイナンバーの浸透が切っても切れないということ。まずマイナンバーの浸透を進めていかななくてはいけないと感じた。

もう一点、ワクチン接種の予約を当部でもオンラインで進めているが、例えば、粗大ごみの申込など、各部各課でバラバラに行っているものについて、統一化を図っていく必要があると感じた。オフィス改革ワーキングチームからもマトリックス組織の在り方の提言があったが、統一して進めていくためには、提言にあったような組織編成が必要となると感じた。

(産業・文化部長)

将来像として、データセンターの一部が市役所になるという話があったが、新庁舎になるといまの延床面積から大きく減っていくのか。

(ワーキングチーム員)

急激には難しいので、いつ頃かは分からないが、徐々に縮小していくイメージを持っている。

(産業・文化部長)

窓口改革ワーキングチームから提言にあったオンライン支所の完成はいつ頃のイメージか。

(ワーキングチーム員)

パソコンやスマートフォンからのオンラインによる申請や手続は、近日中に実現可能。その他にも、メタバースといったバーチャルの世界の活用は、本市でも“どうぶつの森”での例があるが、こういった技術の発展や浸透に合わせて、音声による申請や先端技術の活用も進んでいくと考えている。

(市長)

DXは日進月歩で、非常に急速に進歩している。メタバースは、ついこの間まではVRであった。メタバースとはパラレルワールドで、我々のリアルな世界の横に、常に存

在する仮想の世界があるということ。窓口改革ワーキングチームからの提言内容で、市役所のデータセンター化の話があったが、メタバースを活用すると、情報がそこに集約されるということではなく、市役所そのものがそこに集約され、職員がアバターとしてその中で働くようになっていく。今日この瞬間で、そこまで議論できないといけないというところがDXのスピードの早さ、恐ろしさ。取り入れた者が楽をする、良い目を見る、使わなくてはもったいない技術がどんどん生まれている。できることから始めるが、できるだけ遠くまで高くまで行けば行くほど、市民の皆さんは行政サービスの活用が容易になり、便利になり、我々の仕事も楽になる。

いまは決裁も市長室に直接もらいに来ているが、人が動く情報から、情報が動く情報にすぐに切り替えていってもらいたい。そうすることで労力が一気に短縮でき、これだけでたくさんの仕事が合理化される。その先にメタバースのような世界が待っている。こういう世界へ向かって、皆で一緒に市民サービスを充実し、迅速にし、より豊かにするというのと、我々の働き甲斐や働きやすさを飛躍的に伸ばすという意味で取り組んでいってもらいたい。私も自分が持っている情報を皆さんと共有しながら進めていく。

(事務局)

次回の会議の予定についてだが、現在、国の方でデジタル田園都市国家構想や行革や規制緩和の原則ともなるデジタル原則など、大きな議論が進んでいるところ。この国の動向について、本市デジタル化推進アドバイザーの佐藤氏を講師に迎えて研修を予定している。

(デジタル化推進アドバイザー)

デジタル庁の方でも活発に動いてはいるようだが、各自治体に適切に届いているかと言うとそうでもない部分もあると感じるので、今回は、会議出席者と事務局の双方向に会話できればと考えている。

(副市長)

他に何もなければ、本日の会議はこれで終了する。